

## 公開シンポジウム

平成 25 年度林野庁補助事業 「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」

### 森林づくりから始まる持続可能な地域づくり

ー木質バイオマスは地域を救うかー

同時開催：平成 25 年度「地域活性化システム論」  
第 3 回 未利用木質バイオマスを活用した地域活性化

地球温暖化対策に対するアプローチとして、様々な方策がありますが、我が国では、平成 24 年度より再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まり、豊富な資源量を持つ未利用木質バイオマスに一層注目が集まっています。しかしながら、これらの森林資源は、中山間地域における少子高齢化の問題や林業の経済性の問題から活用が容易ではなく、日本全国の中山間地域の共通の課題となっています。

今回のシンポジウムでは、平成 20 年から「百年の森林づくり事業」を開始し、「環境モデル都市」として積極的に地球温暖化対策及び森林資源を活用した地域活性化に取り組む西粟倉村を一つのモデルとして、これからの中山間地域の持続可能な地域づくり及び地球温暖化対策について、バイオマスエネルギー政策に精通したパネリストをお招きして議論いたします。また、地域に根ざした地球温暖化対策が同時に地域の活性化に繋がるという事例が全国へ波及することを期待しています。

日 時：平成 25 年 12 月 14 日（土曜日）  
13 時 00 分～16 時 30 分

会 場：岡山大学 50 周年記念館 金光ホール

岡山市北区津島中 1 丁目 1 - 1  
事務室 TEL：086-251-7057（FAX 兼用）

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/kinenkan-index.html>

※ 専用駐車スペースはございません。ご来場には公共交通機関をご利用ください。

**参加費：無 料**

当日参加も可能ですが、準備の都合上できるだけ事前に申し込みください。

主 催：岡山大学・大学院環境生命科学研究科、農学部

共 催：岡山県西粟倉村

後 援：環境省（予定）、林野庁

問合せ先：国立大学法人岡山大学農学部（事務室総務担当）

岡山市北区津島中 1 丁目 1 - 1

Tel:086-251-8282 Fax:086-251-8388

E-mail：[QEE8273@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:QEE8273@adm.okayama-u.ac.jp)

公開シンポジウム  
プログラム

- ◆ 13時00分～13時10分 開会宣言、運営説明

大学院環境生命科学研究科・嶋一徹

- ◆ 13時10分～13時25分 挨拶 岡山大学のバイオマス研究と地域活性化支援

研究担当理事・山本進一

- ◆ 13時25分～14時40分 パネラー報告

- ✓ 西粟倉村長・ 青木秀樹氏 (13時25分～13時40分)
- ✓ 大学院環境生命科学研究科長・ 神崎 浩氏 (13時40分～13時55分)
- ✓ ジャーナリスト、環境カウンセラー・ 崎田裕子氏 (13時55分～14時10分)
- ✓ 鳥取環境大教授 (東京大学名誉教授)・ 横山伸也氏 (14時10分～14時25分)
- ✓ 林野庁林政部長・ 末松広行氏 (14時25分～14時40分)

- ◆ 14時40分～15時10分 休憩

- ◆ 15時10分～16時30分 パネルディスカッション

司会：教育研究プログラム戦略ユニット教授・花岡千草

- ◆ 16時30分 閉会宣言

## パネリストのご紹介（発表順）

### 青木秀樹氏

岡山県西粟倉村長

龍谷大学卒業後、昭和 52 年大阪市内の民間会社に就職。昭和 56 年に西粟倉村へ帰り家業の食品会社を経営する。平成 7 年に西粟倉村議会議員初当選、以来連続 5 期当選し、平成 23 年 9 月から現職。村議会在任中は、総務常任委員長 1 期、議長 2 期と要職を務める。鳥取自動車道の開通等、村の環境が変化するなか、「上質な田舎」づくりに向け、「環境モデル都市」構想による自然エネルギーの導入や「百年の森林事業」による雇用創出、都市住民との交流促進・啓発活動を通じて、国内外の中山間地域の様々な課題を解決する施策に取り組んでいる。

### 神崎 浩氏

岡山大学大学院環境生命科学研究科長

京都大学大学院博士後期課程修了後、昭和 62 年に岡山大学に採用、平成 19 年から農学部長、平成 23 年から岡山大学附属図書館長を経て平成 25 年から現職。その間、地域活性化システム論を新規科目として開講するとともに、真庭市バイオリファイナリー事業推進協議会のメンバーとなり、「バイオマス産業体験講座」を開講し、学生に対するバイオマス教育を推進。また、岡山県のおかやま木質バイオエタノール研究会の会長を務め、その後の岡山県グリーンバイオプロジェクトに研究者として参画。さらに、農林水産省のバイオマス資源活用促進事業で設立された中国四国バイオマス資源活用促進協議会の座長を務め、バイオマスタウン設立、バイオマス事業を推進した。

### 崎田裕子氏

ジャーナリスト・環境カウンセラー

立教大学社会学部卒業後、出版社の雑誌編集者を経て昭和 60 年フリージャーナリストとして独立。生活者の視点から「持続可能な社会づくり」を中心に講演・執筆に取り組む。「中央環境審議会」、「総合エネルギー調査会」、「国土審議会」などの政府委員のほか、首相の「経済危機克服のための有識者会合」低炭素・環境分野メンバー、環境大臣の懇話会「環境ビジネスウィメン」メンバーとして環境・エネルギー政策や地域政策づくりに参画。主な著書に「だれでもできる ごみダイエット」（合同出版）、「循環型社会をつくる」（共著・中央法規出版）などがある。

### 横山伸也氏

鳥取環境大学教授 東京大学名誉教授

北海道大学大学院博士課程修了後、工業技術院公害資源研究所入所。温暖化物質循環制御部長、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター所長を経て、平成 16 年より東京大学大学院農学生命科学研究科教授。退官後平成 23 年より現職。専門はバイオマスのエネルギー変換、地球温暖化対策技術。日本有機資源協会副会長、日本エネルギー学会参与、日本学術会議連携会員。主な著書に「地球環境・エネルギー最前線」（森北出版）、「バイオマスで拓く循環システム」（工業調査会）、「温室効果ガス貯留・固定と社会システム」（コロナ社）などがある。

### 末松広行氏

林野庁 林政部長

東京大学法学部卒業後、昭和 58 年農林水産省入省。総理官邸内閣参事官、農林水産省環境政策課長、食料安全保障課長、政策課長などを経て現職。バイオエタノールから木質バイオマス発電まで幅広くバイオマス政策を主導しバイオマス・ニッポンを提唱したほか、固定買取制度ではバイオマス部分の制度設計を政策第一人者としてまとめあげた立役者。地域活性化学会理事。主な著書に「食料自給率のなぜ」（扶桑社）、「解説 食品リサイクル法」（大成出版）などがある。

公開シンポジウム  
森林づくりから始まる持続可能な地域づくり

参加申込書 (Fax 送信用)

参加者氏名 (フリガナ)	連絡先・所属
( )	
( )	
( )	
( )	
( )	

☞ 送信先

岡山大学農学部・事務室（環境生態学講座・嶋宛）

送信先 Fax : **086-251-8388**

---

メールでの参加申し込みも可能

件名を「シンポジウム参加」として、氏名（フリガナ）、所属（連絡先）をご連絡ください。

シンポジウム申込用メールアドレス  
ptqf9i4c@okayama-u.ac.jp